

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

食物栄養学科（栄教二種免）

食物栄養学科は昭和 42 年度の設置以来 50 年以上にわたり、「食」に関するスペシャリストである栄養士を養成し、社会の人々の健康な生活を食生活の面から守り発展させることに寄与してきた。長年にわたる食生活の変化がメタボなど、健康へ悪い影響を与えてきており、給食等で専門知識・技術を活用するのみならず、食に関する正しい知識と実践の普及が肝要となっている。栄養教諭は食の正しい知識や習慣を学校及び地域で伝達し普及する役割を担い、その養成は食物栄養学科の目的にかなっており、平成 17 年度栄養教諭免許制度発足とともに本学科に教職課程が開設された。開設直後は、富山県内の学校栄養職員の栄養免許取得のための講習会を開催して、本県の栄養教諭への転換に大きな役割を果たした。またその後は僅かではあるが社会人の教員免許取得希望者を科目等履修生として受け入れ、現在に至っている。

栄養士を養成する本学科は、管理栄養士養成の専攻科食物栄養専攻とともに、集団又は個人に対する栄養管理能力と栄養指導能力の育成を目指し、学生の教育のみならず各種の生涯学習等で地域との連携を図ってきた。栄養教諭に求められる栄養管理・栄養指導能力や地域との連携は、基本においては本学科が使命してきたものと一致すると考えられるが、特に栄養教諭養成課程では児童生徒に理解し易い説明力・説得力や児童生徒との共感力、学校の複数の職務の人達との円滑な業務遂行能力の育成を図る必要がある。これらを重視したカリキュラムと指導法の向上を図りつつ、次世代育成に貢献できる人材養成を今後とも目指していく。

食物栄養学科（栄教二種免） 計画 / 各段階における到達目標

栄養教諭二種免許には、「教科に関する科目」はなく栄養士免許が必須であるので、到達目標を「栄養士免許関係科目」と「教職関係科目(教職に関する科目と栄養に係る教育に関する科目)」に分けて、記載する。

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<p>栄養士免許関係科目では、今後の2年間で栄養士免許科目を学ぶための基礎事項を修得する。すなわち、調理や実験で栄養士に必要な技能の基礎的な事項を身に付ける。なお栄養士免許取得には、2年にわたり開設時期の定まった指定科目を全て修得する必要がある。</p> <p>教職関係科目では、栄養教諭を含む教員の職務をはじめ必要な基礎事項を修得し、栄養教諭二種免許取得課程全期間の全体像を把握し、志望の有無を含め動機が明確になっていること。</p>
	後期	<p>栄養士免許関係科目では、栄養士に必要な基本的な専門知識をほぼ網羅的に修得しており、調理等の栄養士に必要な基本的な技能についても身に付けていること。</p> <p>教職関係科目では、栄養教諭に必要な基本的な知識を修得しており、2年次前期の教育実習に向けて意欲的に取り組んで学修実績を得ていること。</p>
2年次	前期	<p>栄養士免許関係科目では、給食等大量調理の運営や食品衛生を含め栄養士に必要な技能・実践力を修得し、病態別栄養指導など栄養士に必要な専門知識の状況に応じた応用力を身に付けていること。</p> <p>教職関係科目では、教材作成・授業計画作成／実施等、栄養教諭としての児童生徒への栄養指導の実務能力を身に付けていること。</p>
	後期	<p>栄養士免許関係科目では、栄養士免許申請条件を全て充足し、その専門知識を全国栄養士養成施設協会に沿う水準にまで高めること。また卒業研究（これは栄養士免許取得科目に含まれない）等で生涯学ぶ姿勢を確立し、卒業後に備えていること。</p> <p>教職関係科目では、現職栄養教諭の講演やロールプレイなどにより、栄養教諭の業務や使命感など職務全般に関しての見通しがきき、指導される立場にたった指導方法を考案し栄養指導能力を自ら高めることができ、生涯自ら学ぶ姿勢を身に付けていること。</p>